



トライアスロン

[山梨から世界へ。リオオリンピック 2016]

RIO2016 YUKA SATO

佐藤優香



5月19日の五輪代表記者会見で、リオへの決意を語る佐藤優香

佐藤優香

(さとう ゆか) / 1992年1月18日生まれ、24歳。千葉県出身。母親の勧めでトライアスロンを始め、小学3年生でキッズトライアスロン(千葉)で優勝。2013年から山梨に拠点を移してトレーニングしている。リラククス方法はピアノを弾くこと。

山梨の練習環境が生きるリオのコースでライバルの思いを背負って戦う

リオ五輪の出場枠が男女合わせて3人のトライアスロン。女子は上田藍(ベリエ・グリーンタワー)・ブリジストン・稲毛(インター)と加藤友里恵(ベリエ・グリーンタワー)・稲毛(インター)が選考基準を満たして決まっていたが、佐藤優香(トーション・パートナーズ・NTT東日本・NTT西日本チームケンズ)は3枠目の2020東京五輪有望選手枠を、同学年の高橋侑子(富士通)と争っていた。

甲乙つけがたい難しい選考があったが、トライアスロン連合が最終的に選んだのが佐藤。「推薦という形で選んでもらいましたが、高橋選手らたくさんの選手の思いを背負って目標達成のために努力

します。佐藤を選んでよかった」と認めてもらえるような結果を残していきます」と会見で答えた。トライアスロンはスイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの合計51.5kmで競う過酷なレース。バイクやロードの環境が整う山梨を拠点とする佐藤は、スイムは山梨学院大で水泳部と一緒にトレーニングしており、スイムのレベルアップが一つのカギ。

2010年のユース五輪(シンガポール)で金メダル、2014年の全日本選手権で優勝と着実に力を伸ばしており、リオ五輪でもメダルに絡める可能性がある。バイクコースに坂があるリオのコースでは山梨の地の利を生かしてほしい。